

福祉の現場で働いてみませんか？



社会福祉法人 音別憩いの郷

おんべつ学園

「障がいを持った方たちの支援」といっても中々イメージしづらいのではないかと思います。それは私たちが生活している中で実際にそういった場面を見る機会が少ないからだと思います。障がいを持った方々のサポートをする仕事は、その方々が「自分らしく生きる」為のサポートであり、そんな方々に携わる中で、私たち自身も「自分らしさ」とは何かということに気付かされたり、自分の願いに向かって生きている姿は、時として私たちを人として成長させてくれます。一人の人間として自分なりのスタンスで生きられている、そんな方々をサポートする仕事に少しでも触れていただければと思います。

身辺支援

～自立した生活が出来るように～



掃除や洗濯等

地域で自立した生活が営めるよう支援を行います。



歯磨き支援の様子

利用者の方の健康保持に努めます。他にも食事や入浴の支援も行います。



おすすめ！
しいかワバーガー

生産活動

～充実した毎日が送れるように～

利用者の方が仕事に携われるよう支援を行います

しいたけの栽培

パンの製造

その他織物等



レクリエーション・創作活動

～楽しい日々の提供～

ハロウィン



季節の行事

利用者の方と一緒に職員も仮装やカラオケをして盛り上げます。

花見外出



バイキング



創作活動

アート作品制作にも力を入れています。中には独創的な作品を手掛ける人も！



地域の方々との関わり ～地域の中で～



近隣の学生の皆さんとレクリエーション等を通じ交流をする機会を設けています。また、利用者の方が交通安全講習や防災講習などを受け、地域で過ごす力を身につけています。

相談支援

利用者の方の相談などについて一緒に解決方法を考えます。



職員研修

定期的に研修を行い専門スキルの向上を図ります。福祉以外の分野を学んできた人でも働きながら学ぶことが出来ます。



はたらいてみて感じた喜び

「ワークセンター音別」では菌床しいたけの栽培を行っています。利用者の方と職員が協力し、品質の良い椎茸が出来るよう日々努力をしています。



「ワークセンター音別」

支援員 佐藤 浩



「以前は同法人の入所施設で働いていましたが、数年前にワークセンター音別に異動になり、その時の歓迎会で、こう言ったんです。」

自分が来たからには日本一の椎茸にしたい！



「ですが品評会に参加するものの受賞すら難しく…。ひたすら研究を重ねました。また、自分の机の上には常に『過去の品評会で優勝した椎茸の写真』を飾って意識を高めました。そしてついに全国サンマッシュ品評会にて『ゴールデンサンマッシュ賞』を受賞できたのです！

利用者の方には朝のミーティングで発表しました。皆さんはワッと飛び跳ねて喜んでいましたね。この瞬間、諦めず頑張った良かったと感じました。」

毎日、皆さんが笑顔で作業に参加してくれる、和気あいあいとした職場です

勤続年数2年目 支援員 吉河佑香



私は知的障がいに対する知識が全くなくおんべつ学園に就職しました。最初はわからないことだらけで不安もありましたが、利用者と関わるうちに、不安は消えて行きました。関わりの中で少しずつ個性を理解し、分からない事は助言してもらいながらその利用者さんに合った支援を目指しています。

大変なこともありますが、毎朝笑顔で迎えてくれる利用者さん、くしゃみをただで「大丈夫？」と心配してくれる利用者さん、連休明けで出勤すると「心配してたよ」と声をかけてくれる利用者さん。そんな一人ひとりの言葉や笑顔に元気をもらいながら楽しく働いています！